

年間第十二主日福音メッセージ (マルコ4:35-41)

激しい嵐は、愛する人を失ったり、末期の病気になったり、経済的に破綻したりと、クリスチャンに起こりうるあらゆる危機を暗示しています。間接的に、この嵐はすべてのクリスチャンに、イエスの問いかけを投げかけています。

あなたには信仰がないのですか？もちろん、これらの質問は、イエスを信じる者に悪いことが起こらないことを意味するものではありません。しかし、これらの質問は、どんなに猛烈に見える嵐であっても、致命的なものではないということを実感させてくれます。私たちの誰もが、海や嵐は創造物の一部に過ぎないので、神に従うことを知っています。私たちはまた、神が解決できないほど大きな問題はないことを知っています。しかし、私たちの悩みには終わりがなく、トラブルも私たちを悩ませますが、それは私たちのほとんどが自分自身で解決したいと思っているからです。弟子たちは、一般人の見本です。イエスが一緒にいても、彼らは嵐に怯えていました。アブラムの信仰は完璧な解決策です。人間が自分の悩みや苦しみをすべて神に委ねることができれば！」と。

信仰は今日の朗読会の健全なテーマです。信仰は、宗教的な信仰だけでなく、一般的な信仰も含めて、私たちが生きていく上で非常に基本的なものです。ヘブライ人への手紙には、「信仰とは、希望するものについての確信と、目に見えないものについての確信とである」という、信仰に関する素晴らしい聖句の定義があります。私はこの言葉が信仰についての素晴らしい表現だと思います。信仰には、目に見えないが存在すると確信できるものが必ず含まれています。旧約聖書には、信仰についての輝かしい記述があります。私たちは皆、聖なるページで行進されるのがアブラムであることを知っています。アブラムは、人々が神に話しかけられることに慣れていなかった時代に、神からの挑戦的な呼びかけに従順に従った人物です。彼は最も希望に満ちた人物であり、その希望は裏切られました。彼の妻であるサラは、そのすぐ後に続きます。彼女は、高齢になっても子供を授かるという神の約束を信じたことで記憶されています。私たちは、そのような長い列の中のどこかにいて、希望するものに対しては確信を持ち、見えないものに対しては確固たる信念を持っています。

ウィル神父